

2024年度
一般推薦・社会人Ⅰ期（健康科学部）
小論文（100点 90分）

厚生労働省では平均寿命と健康寿命について、以下のように説明している。

「2019（令和元）年における我が国の平均寿命は男性 81.41 歳、女性 87.45 歳であり、健康寿命とはそれぞれ約 9 年、約 12 年の差があります。国民一人ひとりが健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現し、社会保障制度を持続可能なものとするためには、平均寿命を上回る健康寿命の延伸を実現することが必要です。平均寿命とは「0 歳における平均余命」のことで、2019（令和元）年の平均寿命は男性 81.41 歳、女性 87.45 歳です。一方、健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことをいい、2019（令和元）年の健康寿命は男性 72.68 歳、女性 75.38 歳となっています。2001（平成 13）年から男性の方が女性より健康寿命は延伸しており、男女差も若干縮小しています。」

問 1 上記の説明文および図 1, 2 から読み取れる客観的な事実を要約して記述しなさい。
(200 字以上 300 字以内)

問 2 健康寿命を延伸するために医療従事者ができることについてあなたの考えを記述しなさい。(600 字以上 700 字以内)。

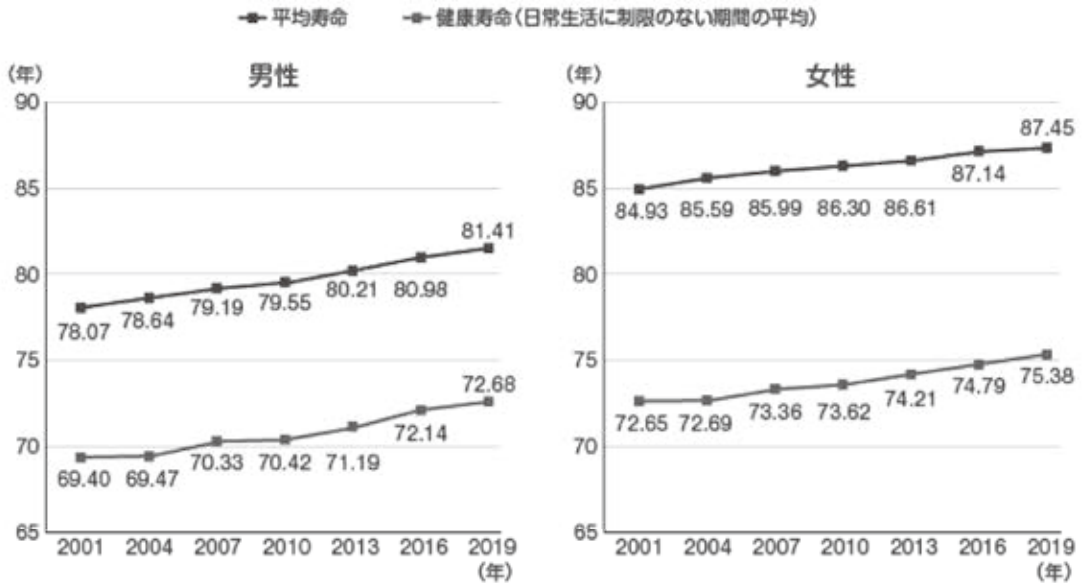


図 1.平均寿命と健康寿命の推移



図 2.平均寿命と健康寿命の差 (2019 年)

引用先：厚生労働省ホームページ e-ヘルスネット「情報提供」健康寿命より
<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/hale/h-01-002.html>
 (2023 年 10 月 1 日閲覧)